

F Mアップルウェーブ 第91回放送番組審議会

開催日時

平成27年4月11日(土) 12:00~13:00

開催場所

土手町コミュニティパーク(弘前市土手町)

出席委員

委員長 石岡 徹、副委員長 工藤 茂起
委員 鳴海 清彦、高村 智子、大西 晶子、渋谷拓弥(リポート)

会社側出席者

代表取締役社長:清藤 哲夫、専務取締役:一戸 勝美
放送部統括マネージャー:花田 由香子 放送部チーフ:玉田雅規

議題

- (1)番組に対する意見要望
- (2)次回開催日について 6月26日(土)

議事の概要

○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。

1)課題番組 特別番組『3・11を忘れない～そして未来へ～』(3月11日 13:00~15:50)

- ① パーソナリティと、防災士2人の話ぶりがとても落ち着いていて聴きやすい。市民に当時の話をインタビューしていたが、どれくらいの人数に話を聴いていたのか気になる。
- ② とても落ち着いた印象を受けた。トークの間に流れていた選曲も良い。これまでの災害の振りかえりによって、災害が発生する可能性を痛感した。普段から耳にするこのような放送で災害の話題に触れる事が大事だと感じた。
- ③ 予期せぬときにやってくる災害だが、防災において「命を守る」という意識がない。まずもって「命を守ることが大事だ」ということをしっかりアナウンスすべき。日常的に避難所の情報等は放送してほしい。
- ④ BGMの選曲が良い。3.11以外にも、過去の風水害の情報に記憶がよみがえり、防災意識が高まる。今後も続けていくべき番組。火山災害に関する事や情報に数値が盛り込まれていて興味をかきたてる。市の取り組みや家庭で出来る減災対策など、役立つ情報があった。中継先とスタジオの掛け合いが不自然だった。
- ⑤ 企画段階から生放送への準備がしっかり出来ていると感じた。過去にも大きな災害は弘前であったが、弘前市内では小さな水害等が頻発しており、それぞれの場所に関する情報が重要になる。弘前の消防団の活動・組織の状況取材しながら、地域の防災について取りいれてはどうか。
- ⑥ 街の声、市の取り組み、過去の災害等番組構成が良い。地区単位の防災意識が大事。市は年1回の防災訓練があるが、地区単位で訓練を行っている地域を紹介してほしい。防災訓練といえば地震・火事だが、水害や火山噴火に対する訓練も必要になるのでは。

【審議機関の答申または改善】

地区単位の防災情報を定期的に発信すべき。

【審議機関の答申または改善意見の公表】

- 1)議事録を本社に配備し、社内各部署に配布
- 2)FMアップルウェーブのホームページに掲載